

外国語

|                |     |      |    |     |       |            |
|----------------|-----|------|----|-----|-------|------------|
| 「英語コミュニケーションⅠ」 | 単位数 | 3 単位 | 学科 | 〇〇科 | 学年・学級 | 第〇学年 〇組～〇組 |
|----------------|-----|------|----|-----|-------|------------|

## 1. 学習の到達目標

|             |   |
|-------------|---|
| 学習の到達目標     | <p>日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</li> <li>2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</li> <li>3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。</li> <li>4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。</li> <li>5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。</li> </ol> |
| 使用教科書、副教材など | <p>「BRIGHTEST English Communication I」(C I 002-903)、</p> <p>「BRIGHTEST English Communication I WORKBOOK」(東京書籍)</p> <p>「BRIGHTEST English Communication I 本文学習ノート」(東京書籍)</p>   |

## 2. 学習指導計画及び評価方法等

| 学期 | 月 | 学習内容<br>(教科書の構成)                                    | 学習のねらい   | 考查<br>範囲         | 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に<br>取り組む態度   |
|----|---|---|--|------------------|---|--|---|
| 1  | 4 | <b>Lesson 1</b><br>Spectacular<br>Landscapes        | <p>【題材内容】<br/>世界の美しい絶景について知る</p> <p>【言語材料】<br/>基本文型 (SV、SVC、SVO、SVOO、SVOC)</p> <p>【言語の活動】<br/>自分が訪れてみたい国や地域について、調べて発表する。</p> <p>【言語の働き】<br/>説明する、描写する、提案する、理由を述べる、主張する</p> | 1 学期<br>中間<br>考查 | <p>【知識】<br/>基本文型の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】<br/>自分が訪れてみたい国や地域について、基本文型などを用いて、情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝える技能を身に付けている。</p>   | グループ発表の場で、自分が訪れてみたい国や地域について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えている。                              | グループ発表の場で、自分が訪れてみたい国や地域について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝えようとしている。                       |
|    | 5 | <b>Lesson 2</b><br>A Prize for<br>Funny<br>Research | <p>【題材内容】<br/>イグ・ノーベル賞を受賞した研究について読み、身近なテーマの科学的実験について知る</p> <p>【言語材料】<br/>現在・過去・未来、進行形、現在完了形</p>  |                  | <p>【知識】 現在・過去・未来、進行形、現在完了形を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】 身近なテーマの科学実験について、現在・過去・未来、進行形、現在完了形などの理解を基に、必要な情報や話し手・書き</p> | 身近なテーマの科学実験について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、思わず他人と同じように行動してしまった出来事について、情報や経験などを話したり書 | 身近なテーマの科学実験について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、思わず他人と同じように行動してしまった出来事について、情報や経験などを話し |

[illegible]

| 学期 | 月  | 学習内容<br>(教科書の構成)  | 学習のねらい  | 考查<br>範囲         | 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に<br>取り組む態度   |
|----|----|---|---|------------------|---|--|---|
| 2  | 9  | <b>Lesson 5</b><br>The Art of<br>Changing<br>Behavior   | <b>【題材内容】</b><br>よりよい行動を後押しするナッジ理論について知る<br><b>【言語材料】</b><br>SVO＋to 不定詞、SVOC（C＝原形不定詞、分詞）<br><b>【言語の活動】</b><br>新商品について宣伝する<br><b>【言語の働き】</b><br>説明する、描写する、報告する、理由を述べる、質問する、提案する、説得する、注意をひく | 2 学期<br>中間<br>考查 | <b>【知識】</b> SVO＋to 不定詞、SVOC（＝原形不定詞、分詞）の形・意味・用法を理解している。<br><b>【技能】</b> 新たな商品の魅力について、SVO＋to 不定詞、SVOC（＝原形不定詞、分詞）などを用いて、情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝える技能を身に付けている。   | スピーチの場で、人の行動を促す新たな商品の魅力について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを理由や根拠とともに聞き手にわかりやすく話して伝えている。       | スピーチの場で、人の行動を促す新たな商品の魅力について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを理由や根拠とともに聞き手にわかりやすく話して伝えようとしている。        |
|    | 10 | <b>Lesson 6</b><br>Nature Positive                      | <b>【題材内容】</b><br>生物多様性を回復させる方法について考える<br><b>【言語材料】</b><br>動名詞、動詞の過去完了、現在完了進行形、過去完了進行形<br><b>【言語の活動】</b><br>保護したい日本の自然について発表する<br><b>【言語の働き】</b><br>説明する、描写する、報告する、理由を述べる                  |                  | <b>【知識】</b> 動名詞、過去完了、現在完了進行形、過去完了進行形の形・意味・用法を理解している。<br><b>【技能】</b> 次の世代に残したい日本の自然について、動名詞、過去完了、現在完了進行形、過去完了進行形などを用いて、情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝える技能を身に付けている。 | 個人発表の場で、次の世代に残したい日本の自然について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを理由や根拠とともに聞き手にわかりやすく話して伝えている。        | 個人発表の場で、次の世代に残したい日本の自然について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを理由や根拠とともに聞き手にわかりやすく話して伝えようとしている。         |
|    | 11 | <b>Lesson 7</b><br>Egg Whipping:<br>Science and<br>Food | <b>【題材内容】</b><br>たまごの泡立てについて読み、食品と科学の関係を知る<br><b>【言語材料】</b><br>仮定法過去、仮定法過去完了、形式主語・形式目的語 <b>【言語の活動】</b><br>好きなたまご料理について発表する<br><b>【言語の働き】</b><br>説明する、描写する、報告する、理由を述べる、助言する、提案する           | 2 学期<br>期末<br>考查 | <b>【知識】</b> 仮定法過去、仮定法過去完了と形式主語・形式目的語の形・意味・用法を理解している。<br><b>【技能】</b> たまごの調理手順や秘訣について、仮定法過去、仮定法過去完了と形式主語・形式目的語などを用いて、情報や自分の考えを理由や根拠とともに話して伝える技能を身に付けている。    | ペアやグループ発表の場で、たまごの調理手順や秘訣について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを理由や根拠とともに聞き手にわかりやすく話して伝えている。      | ペアやグループ発表の場で、たまごの調理手順や秘訣について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを理由や根拠とともに聞き手にわかりやすく話して伝えようとしている。       |
|    | 12 | <b>Lesson 8</b><br>Origami<br>Engineering               | <b>【題材内容】</b><br>折り紙の技術が新しい分野で応用されていることを知る<br><b>【言語材料】</b><br>関係代名詞 what、関係副詞<br><b>【言語の活動】</b><br>折り紙の技術を使って作りたいもの  |                  | <b>【知識】</b> 関係代名詞 what、関係副詞の形・意味・用法を理解している。<br><b>【技能】</b> 折り紙の技術を使って発明したいものの例について、関係代名詞 what、関係副詞などを用いて、情報や自分の考えを理由や根                                    | ペアやグループ発表の場で、折り紙の技術を使って発明したいものについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを理由や根拠とともに聞き手にわかりやすく話して伝えている | ペアやグループ発表の場で、折り紙の技術を使って発明したいものについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを理由や根拠とともに聞き手にわかりやすく話して伝えようとしている。 |

| 学期   | 月 | 学習内容<br>(教科書の構成) | 学習のねらい   | 考查<br>範囲 | 知識・技能                  | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に<br>取り組む態度 |
|--|---|------------------|--|----------|------------------------|----------|-------------------|
|  |   |                  | について説明する<br>【言語の働き】<br>説明する、描写する、報告する、理由を述べる、提案する、説得する |          | 拠とともに話して伝える技能を身に付けている。 |          |                   |
| <b>【課題・提出物など】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 5～8 の Communication Activity における発表</li> <li>・ ワークシート</li> <li>・ 準拠教材『WORKBOOK』</li> <li>・ 準拠教材『本文学習ノート』</li> </ul>  |   |                  |  |          |                        |          |                   |
| <b>【第 2 学期の評価方法】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 言語活動の取り組み状況の観察（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）</li> <li>② Lesson 5～8 の Communication Activity のパフォーマンステスト（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）</li> <li>③ 上記課題等の提出（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）</li> <li>④ 確認テスト、中間・期末考査、評価問題など（知識・技能、思考・判断・表現）</li> </ol> |   |                  |  |          |                        |          |                   |

|   |   |   |   |                     |  |   |   |
|---|---|---|---|---------------------|--|---|---|
| 3 | 1 | <b>Lesson 9</b><br>Recipe for Happiness | <b>【題材内容】</b><br>幸せを感じる瞬間に脳内で起こることについて学ぶ<br><b>【言語材料】</b><br>関係代名詞（非制限用法）、関係副詞（非制限用法）、比較の表現<br><b>【言語の活動】</b><br>自分の日常生活を振り返り、自分が幸せを感じる瞬間について話す<br><b>【言語の働き】</b><br>説明する、要約する、報告する、理由を述べる、主張する | 3<br>学期<br>期末<br>考査 | <b>【知識】</b> 関係代名詞（非制限用法）、関係副詞（非制限用法）、比較表現の形・意味・用法を理解している。<br><b>【技能】</b> 幸せを感じる時の脳の特徴や、自身の経験について、関係代名詞（非制限用法）、関係副詞（非制限用法）、比較表現などを用いて、情報や自分の考えを理由や根拠とともに書いて伝える技能を身に付けている。 | グループディスカッションの場で、幸せを感じる時の脳の特徴や、自身の経験について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを、理由や根拠とともに書いて伝えている。                 | グループディスカッションの場で、幸せを感じる時の脳の特徴や、自身の経験について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分の考えを、理由や根拠とともに書いて伝えようとしている。                 |
|   | 2 | <b>Lesson 10</b><br>Swimming for Peace  | <b>【題材内容】</b><br>ユスラ・マルディニさんの実話を通して、難民問題を考える<br><b>【言語材料】</b><br>接続詞（理由・条件・逆接・同格）、分詞構文<br><b>【言語の活動】</b><br>外国に住みたいかどうか考え、自分の意見を述べる<br><b>【言語の働き】</b><br>説明する、報告する、理由を述べる、提案する、賛成する、反対する、主張する   |                     | <b>【知識】</b> 接続詞や分詞構文の形・意味・用法を理解している。<br><b>【技能】</b> 外国に住むことの利点と欠点について、接続詞や分詞構文などを用いて、情報や自分の考えを即興で話して伝え合うやり取りを続ける技能を身に付けている。  | 外国に住むことの利点と欠点について、互いの意見を交換するために、ユスラ・マルディニさんの経験について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを即興で話して伝え合うやり取りを続けている。 | 外国に住むことの利点と欠点について、互いの意見を交換するために、ユスラ・マルディニさんの経験について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを即興で話して伝え合うやり取りを続けようとしている。 |

| 学<br>期   | 月 | 学習内容<br>(教科書の構成)              | 学習のねらい                                      | 考<br>査<br>範<br>囲 | 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に<br>取り組む態度   |
|--|---|-------------------------------|---|------------------|--|---|---|
|  | 3 | Reading<br>The Great Dictator | 〔題材内容〕<br>チャップリンの映画『独裁者』の一節を通して、平和とは何かを考える。 |                  | 〔知識〕 文と文、段落と段落のつながりを示す語句を理解している。<br>〔技能〕 語、句、文の理解を基に、スピーチの展開や話し手の意図、概要や要点、詳細を捉え、感想を論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 | 主人公が訴える、人種や国を超えた自由と平和の大切さについて、話の展開や話し手の意図、概要や要点、詳細を捉え、読んだことを活用しながら、自分の感想を論理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 | 主人公が訴える、人種や国を超えた自由と平和の大切さについて、話の展開や話し手の意図、概要や要点、詳細を捉え、読んだことを活用しながら、自分の感想を論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。 |
| <b>【課題・提出物など】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 9～10 の Communication Activity における発表およびライティング</li> <li>・ ワークシート</li> <li>・ 準拠教材『WORKBOOK』</li> <li>・ 準拠教材『本文学習ノート』</li> </ul>  |   |                               |   |                  |  |   |   |
| <b>【第 3 学期の評価方法】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 言語活動の取り組み状況の観察（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）</li> <li>② Lesson 9～10 の Communication Activity のパフォーマンステスト（思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）</li> <li>③ 上記課題等の提出（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）</li> <li>④ 確認テスト、期末考査、評価問題など（知識・技能、思考・判断・表現）</li> </ul> |   |                               |   |                  |  |   |   |